

日本の山留革命

ヒロセスマート山留®

NETIS登録番号:TH-240025-A

ラクラー

ボルト数64本から

8^{※1}
本
に削減

カルガル

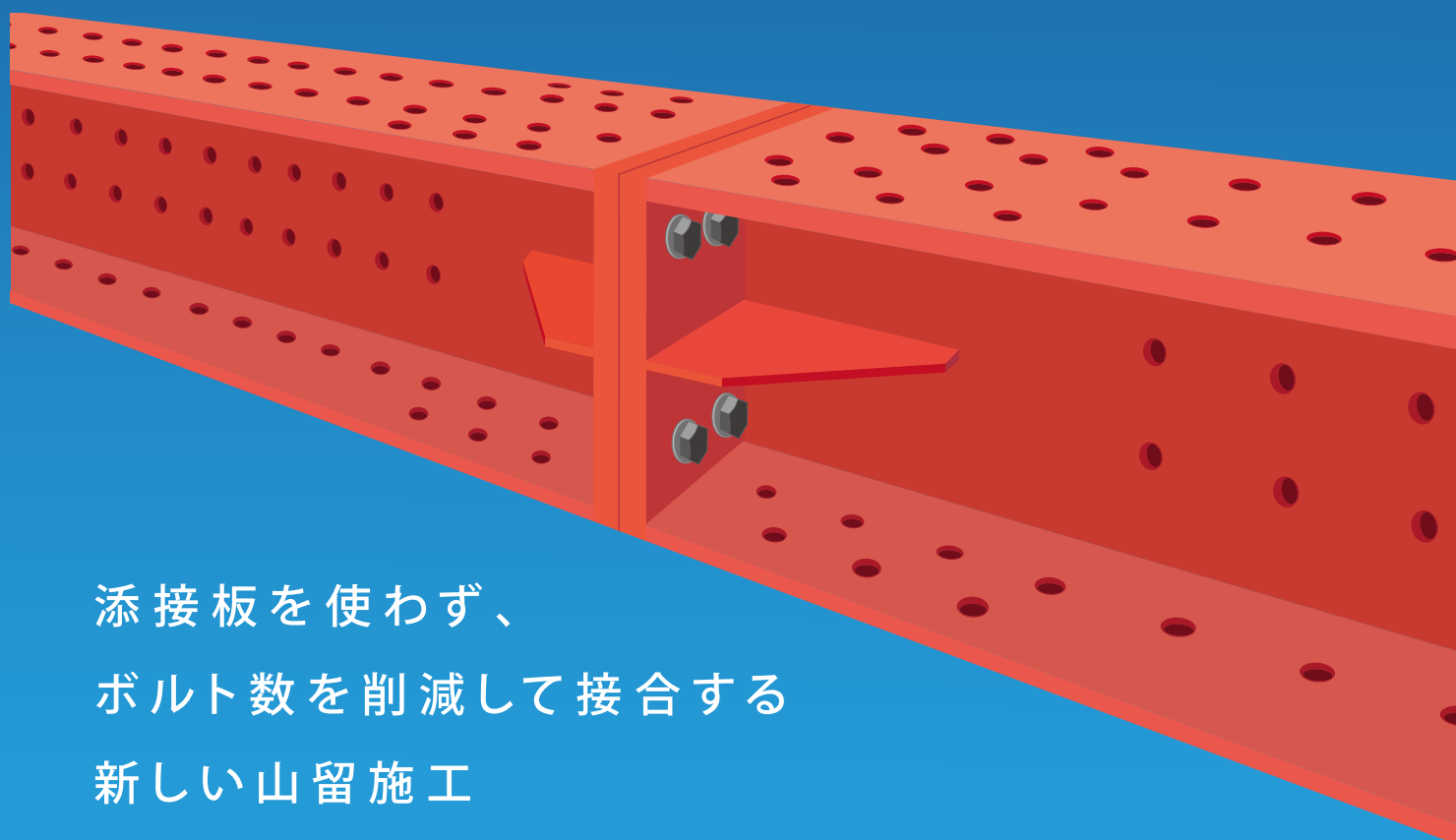
2枚の添接板が不要

0^{※2}
kg
に軽減

サクサク

ボルトの締結時間を

80%
も短縮



添接板を使わず、
ボルト数を削減して接合する
新しい山留施工



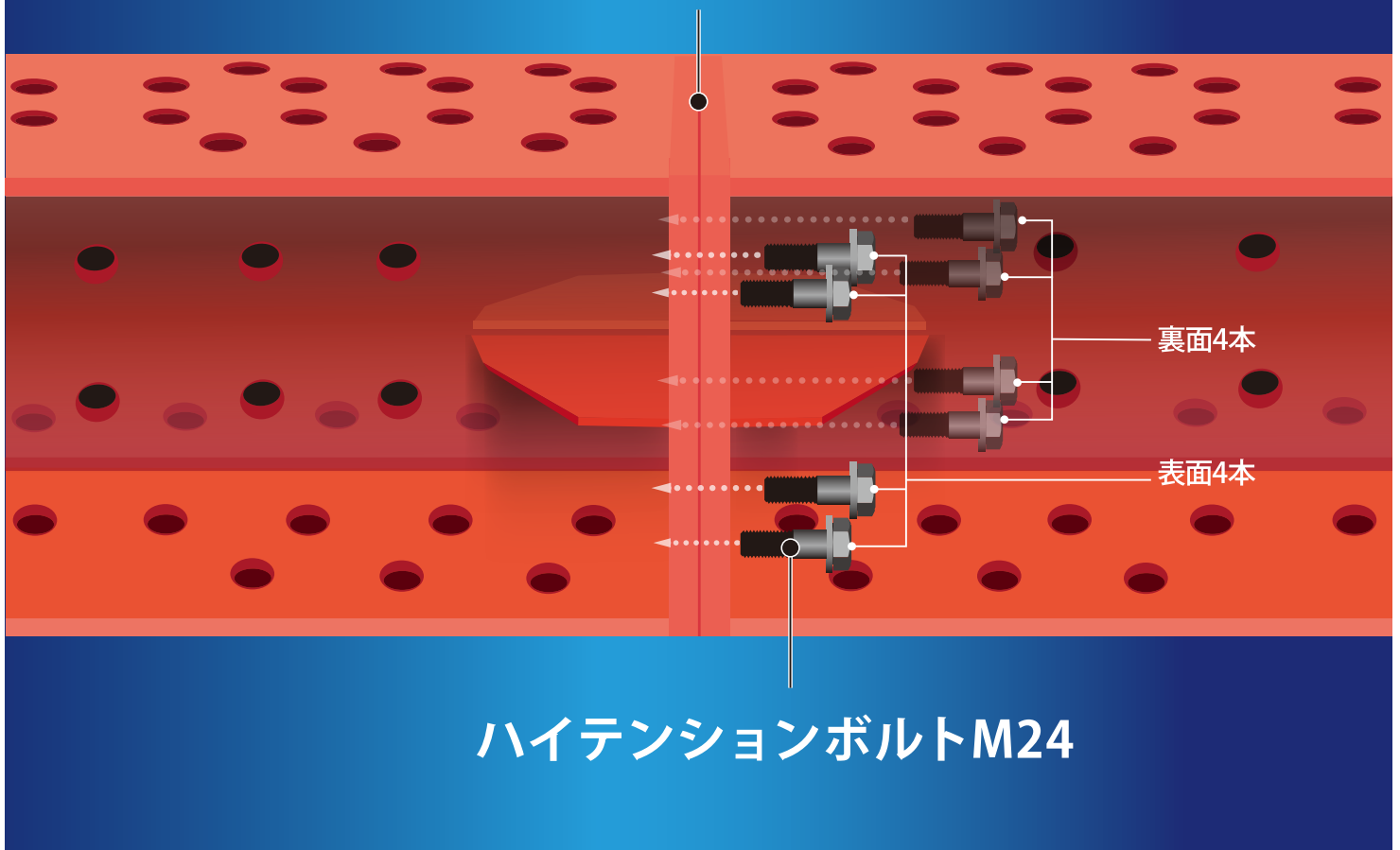
詳しくは
動画をご覧ください

※1 従来山留、40HAの場合ボルト64本との比較 ※2 従来山留の場合、2枚80kgの添接板で接合

山留の常識を変えた画期的な新構造

ヒロセスマート山留®

エンドプレート
高強度規格材SM490A



ハイテンションボルトM24

ボルト本数
8本

ボルト締結本数を、
大幅に削減

ボルトが締結8本で完了。引張荷重に対して耐久性のある高張力鋼でできた強度の高いハイテンションボルトM24を使用

- H350×350×12×19(35SHA) HTBボルト本数8本
- H400×400×13×21(40SHA) HTBボルト本数8本

添接板不要
0kg
※1

80kg^{※1}の添接板を
なくして軽量化

エンドプレートの材質を高強度規格材SM490Aを使用。添接板を使用しない接合方法により施工の簡素化、軽量化を実現

※1 従来製品は1枚40kgの添接板2枚(80kg)を使用

作業時間
80%
※2

施工時間の短縮による、
労働負担の軽減

ボルト締結本数を大幅削減。重い添接板をなくし施工時間の短縮、省力化などにより作業時間を80%に削減^{※2}、現場の安全性向上に貢献

※2 従来製品の添接板ボルト締結時間と比較した場合

従来製品の組み合わせも可能

従来製品の山留材と組み合わせることで、必要となる箇所のみヒロセスマート山留®を使用することができます。

早く美しく簡単な 山留施工



ヒロセスマート山留®は

「大阪公立大学」と「岩手大学」
との共同研究商品です。



SDGs目標13「気候変動に
具体的な対策を」に貢献